

山口県長門市から参りました木村ひろみです。畜産農家です。
場違いな会場にのこのこ出てきて大変恐縮しております。

私が住んでいるところは、前方にウィンドパーク千畳敷の風車を臨み、眼下には漁火がこうこうと輝く日本海が広がり、二位の浜の白さと海の青さのコントラストが抜群で、ぐるっと回れば童謡詩人金子みすゞのふるさと仙崎や青海島、長門を一望でき、特別養護老人ホームや黄波戸温泉センターありと、自然豊かなのどかな山の中腹にあります。

楽しい農業をモットーにしておりますが、現状はなかなか厳しいものがあります。繁殖牛35頭、飼料作5ヘクタールあまりと野菜畑1反、小さな野菜ビニールハウスで牛フン堆肥で化学肥料や農薬を使わない、こだわりのある、人と環境にやさしい循環型の農業をしています。自給自足のできる農業、農家暮らしを誇りに思っています。

農山漁村の女性は、売れない残ったものを、もったいないので加工して売れる商品に作りかえる知恵や技を持っています。少しでも所得向上させたいとの思いです。
私も総菜許可を取り、加工所を建て、栽培した旬の野菜を使ってコンニャクや漬け物、つくだ煮等を作っています。食と農をつなぐ活動として、長門市の実証実験店舗まるごと長門「旬」市場へ出荷をし、農産物直売所経営にも参画しており、お客様と顔の見える販売方法で地産地消推進をして元気を頂いているところです。

農業は基本的には家族経営です。農家が農業してこそ食料を生む大切な農地が守られ続けるのですが、あたりまえのことですが、しかし、高齢化が進み、若者は都会へと流出し、担い手不足でその対策として、集落営農・法人化による、助け合い、支え合いの中で持続可能な農業・農村にという仕組みづくりが行政指導・支援の中で進められています。長門市では、一市一農場目ざした取り組みもなされ進行中です。

担い手育成の取り組みとして（山口県農家生活改善土会の活動）

農業関係高校生、農業大学校生を対象としたホームスティの引き受けをしています。S63年からH22年までは、県事業があつて支援がありましたが終了しましたので、農業・農村が廃れないように農業の大切さや農村の良さをもっと知ってもらいたいとの思いでH24年に復活させ、今度は子供達から体験料を頂いて農作業や農家暮らし体験をしてもらって農業の多面的な機能に興味、関心を持ってもらい、何らかの形で農業とつながればと、毎年出合いを楽しみにしています。また県域では若い女性を対象とした地域資源を活用したセミナーの開催をしたりと、交流をしながら農業の理解促進をしています。

このような学習や実践の機会をつくることも必要だと思います。

また、農家の働く環境をよくすることも後継者を育てることにつながります。

その手法として、家族経営協定を家族間で結ぶことです。

労働時間や報酬、休日等を話し合いのもと決めて、めりはりのある、家族がそれぞれ役割を持ち生きがいのある暮らしができるように、自立ができるように。そうすることで後継者も安心して後を継げるようになれると確信しています。なので改善土会で家族経営協定推進をしています。このことも重要だと思います。

私の所属している山口県農山漁村女性連携会議は、農山漁村女性の社会参加の促進と地位向上を図るために発足した団体です。

県で策定された「山口県農山漁村女性に関する中長期ビジョン」の実現に向けて女性がいきいきと生産や加工、むらづくりなど多様な活動に参画し、活躍できる体制がしかれ、その支援の中、地域実践者として地域活性化に一役を担っているところです。美しく快適な農村環境景観づくりで休耕田にひまわりやコスモス植栽運動を展開していることもその1つです。女性の多様な活動、活躍が地域を元気にできるんだと自負しています。

また、加工品のコンクールが年1回開催され、優秀作品は商品化され、やまみちゃんブランドとして登録され、そのシールをはって付加価値をつけ元気を頂ける取り組みとなっています。

「今後とも持続的に発展を続けていくために必要なものは？」でございますが、農畜産物の販路拡大において、やはり道路事情がよりよくなることです。道路整備・維持管理されていることが生活する上でもとても重要だと思います。また、災害時には孤立化の可能性が高い地域なので、是非、今後とも代替路の整備や維持管理を継続して行って頂ければと思います。また、それに伴い人の手も必要かと思います。若い人の働く場所として行政には雇用の確保、そのことを是非とも期待したいところです。

さらには、畜産経営においても流通手段の確保と輸送コストの低減が課題です。長州ながと和牛は大阪や兵庫の市場に出荷されます。経費削減のため高速料金の低減化をお願いできれば少しでも元気に頑張れるのではと思います。

子牛市場は県内ですが山陽側なので山陰側からの出荷は経費を要します。なるだけ地域間の格差がないようにしていただけたらと思います。

今、長門市では山陰道（長門・俵山道路）の整備が進んでいます。工事事務所ができ、道路整備に向けた工事準備が始まっています。ありがたいことです。下関まで早期完成を期待します。完成のあかつきには、農産物の海外への販路拡大にもつながり活気づくのではと思っています。